

3月定例会

# 平成26年度一般会計予算は

# 258億6千万円

(前年度当初比4.8%増)



議場風景(3月定例会)

3月定例会には、市長提出議案30件が提出され、すべてを原案のとおり可決・同意しました。主な議案の内容と採決の結果は次のとおりです。

## 当初予算

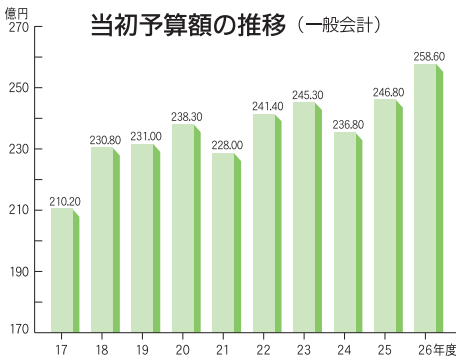
「人口減少対策」、「安心安全の確保」、  
「魅力あるまちの創出」を  
推進する重点政策

○平成26年度行田市一般会計予算(原案可決)

平成26年度予算は、多様化する行政需要に対応するため、徹底的なコスト縮減を図り、持続可能な財政を堅持するとともに、第5次行田市総合振興計画の実現に向け、平成25年度に引き続き、「行田市版骨太の方針」の3つの柱を推進する重点政策へ財源を優先的に配分している。

主なものとして、「人口減少対策」では、子育て世帯の定住化を促進するための奨励金交付や、中学校卒業までの子ども医療費無料化、新たな子

## 当初予算額の推移(一般会計)



育て支援拠点施設を中心とする各種施策の展開で子育て環境のさらなる充実を図るほか、優遇措置を講じ積極的な企業誘致に取り組むなど、雇用環境の創出を図っていく。

また、本市の魅力発信を強化するとともに、川のまるごと再生プロジェクトによる自転車散歩ルートの整備等や、「古代」をテーマにした事業を展開し、まちの魅力を高め、交流人口の増加に努める。

次に、「安心安全の確保」では、防災行政無線の施設更新をはじめ、公共施設を中心とする耐震改修など、防災体制を強化するとともに、橋梁の架け替えなど老朽化した施設の更新に着手していく。

また、いきいき元気サポーターを活用した安心生活創造事業などを通じ、高齢者や障害者等が安心して暮らせるよう、地域における支え合いの体制づくりを継続していく。

次に、「魅力あるまちの創出」

では、行田エコタウンの創出に向け、住宅用太陽光発電システムの設置や電気自動車等導入に対する補助、自治会防犯灯のLED化、市民の健康づくりを推進する各種施策を展開していく。

また、市内小・中学校へのエアコン設置については、普通教室に加え、特別教室へも拡充し、併せて計画的にトイレを改修するなど、快適な教育環境を確保していく。さらに、発達障害児等の対応として、特別支援教育の充実、強化を図り、きめ細やかな教育を推進していく。

このほか、本年は市制施行65周年記念として、様々な記念事業を実施していく。

## 特別会計の合計額は

# 183億円余

○平成26年度の各種特別会計予算(全て原案可決)

国民健康保険事業費特別会計など6特別会計の平成26年度予算は合計で183億237万5千円である。

なお、公営企業会計の水道事業会計予算は24億7365万1千円である。